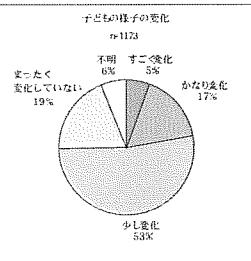


2005年度民間団体の居場所調査より  
写真は2006年度事業です

### ■子どもを参加させた保護者の評価

●保護者に子どもの居場所に参加しての「子どもの様子の変化」を聞いたところ、「すごく変化した」5%、「かなり変化した」17%、「少し変化した」53%となっており、約3／4の保護者が、地域子ども教室に参加することでの子どもの様子の変化を実感している結果となった。(n=1173人)



- ◇ 表情が豊かになった。遊びの中で想像力を働かせる事が好きになった。
- ◇ 学校とは違う友達が出来て、色々な事を吸収してきます。上下関係も学んで、しっかり自分の気持ちを言葉に出来るようになったと思います。
- ◇ 発表会を目標に生き生き生活している。生活中に張りが出てきたように思う。
- ◇ 本人の本質そのものを受け入れて頂けることにより、潜在能力を引き出してくれた！？
- ◇ 親が体験させてあげられない事を体験させてもらい、その体験の中で感じ、想像したりすることで話す内容が豊かになりました。
- ◇ 根気のない子でしたが、絵付けや型抜きに夢中になっている様子を見てびっくりしています。家に帰っても宿題をあきらめずにやるようになってさらに驚いています。
- ◇ 新しい遊びやそこで教わった事を自分の学校の友達とするようになり、遊びの幅が広がったように思います。
- ◇ ひとりっ子なので他の同級生と共に勉強や製作をすることで、協調性が高まり、物事に積極的に取り組む姿勢が生まれてきた。
- ◇ 自己アピール出来るようになった。団体で活動する事に消極的だったが、喜んで参加するようになった。
- ◇ 忙しい毎日の中で自分らしくしていられる「ほつ」とスペースを得たことで、学校にも適応していくよいきっかけを得ました。感謝です！

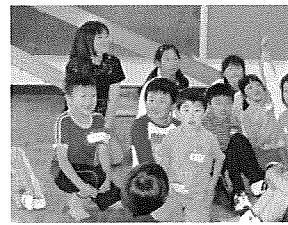


### ■子どもの居場所に参加した子どもたちの声

●子どもの居場所は、どんなところか自由記述で尋ねた結果、地域子ども教室はほとんどの子どもが「楽しいところ」と答え、また「安心して自分を出していい場所」と答えている子どももいる。学区を越えた子どもとの出会いで緊張感はあるものの、少人数の友だち関係で、気心が知れてくると安心して自分を出せ、今まで出会わなかったおとなと出会い、自分を認めてもらえ、周りの人の目を気にしながら過ごす学校の「教室」とは全く空気が違う「教室」と捉えている。新しい遊びを覚えたり、創り出したりと、みんなとの共同作業を通じて、自分の居場所が確保できていることがうかがえる。

(n=1901人)

- ◇ もう終わっちゃうの！もっとやりたい。楽しい。4時半じゃたりない。(小3・女子)
- ◇ ゲームをやっていてもすぐに入れてもらえるところ。友だちと会うのが嬉しい。(小6・女子)
- ◇ 話や悩みを聞いてくれる。おとなとの話が聞ける。(中1・男子)
- ◇ 知らない人でも仲良く出来て、いっぱい知らない遊びが出来て楽しいところ。(小3・女子)
- ◇ いろんな楽器が吹ける。楽譜が読めるようになる。(小4・女子)
- ◇ いろんな探検がさせてもらえる。(小4・女子)
- ◇ ちょっとおとなになった感じ。意思をはっきり言える。(小5・女子)
- ◇ エイサーの練習をしたりダンスが楽しい。(小2・女子)
- ◇ おとなと普通にしゃべれる。リラックスできる。楽しくしゃべれる。(小5・男子)
- ◇ 山あり、川あり。(小5・男子)
- ◇ ルールに従うんじゃなくて自分たちでルールをつくるところ。(小6・女子)
- ◇ 自分が出て、安心できる場。(中2・女子)



### ■指導員の評価

●地域ボランティアに事業に参加してよかった点を複数回答で尋ねた。結果は上位から「子どもによい体験の場を提供できた（403）」が約半数。続いて「子どもについての発見があった（365）」「人間関係がひろがった（326）」が選択された。(n=880人) 以下は具体な内容を尋ねた自由記述の抜粋。

- ◇ 閑静な住宅地に集う場所ができ、子どもたちの笑い顔、笑い声が聞こえ、町に活気が出てきました。近隣に住むお年寄りは子どもとのふれあいを楽しみにしています。(48歳・女性)
- ◇ 自分の経験ではもっと学校の友達と遊んでいたような気がするが、今の子どもたちは学校を離れると如何にバラバラか実感した。同時にそういう子ども達に新しい集合の場を提供できたと思う。(51歳・男性)
- ◇ 子どもたちが秘めているエネルギーは、おとなの想像をこえる。(33歳・女性)
- ◇ 子どもってかわいいなって心から思えるようになりました。私たちが普段生活する中で気づかないことに気づいたり…この活動を機に免許を取り始め、4月からは教員として働くことに。私の人生を大きく変えてくれた。(21歳・女性)

\*詳しくは「子どもの居場所」づくりに関する調査研究報告書をご覧下さい。